

# 社会・地理歴史・公民における一人一台端末を活用した授業案

校種・学年 分野（科目）	地理歴史 (地理総合)	単元名	生活圏の調査と地域の展望
-----------------	----------------	-----	--------------

育みたい社会的事象について 調べまとめる技能	一人一台端末活用の効果	使用するインターネット上のサイト
<b>【情報を収集する技能】</b> GISを活用して、生活圏で見られる地理的課題に関する情報を収集する。	各自が設定した地理的課題について、様々な情報提供サイトを活用することで、多面的・多角的な調査・分析をすることができる。	・地域経済分析システム (RESAS) ・政府統計の総合窓口 (e-Stat) ・地理院地図

## ★一人一台端末を活用する場面

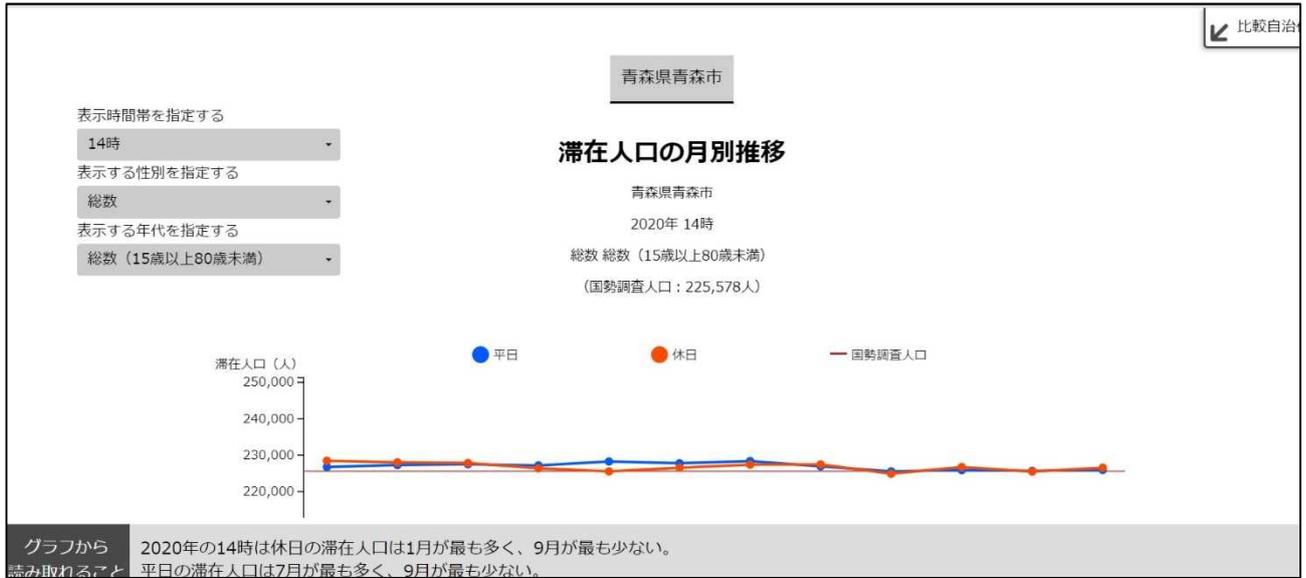
授業の概要	「観光の活性化・国際化」、「少子化・高齢化対策」、「防災・減災」の3つのテーマの中から、自分が調査したいものを一つ選択し、どのような課題があるのかを、インターネットを活用して事前調査する。	
	学習内容・活動	一人一台端末の活用ポイント
	1. 3つのテーマから、自分が調査するテーマを選ぶ。 2. 選択したテーマについて、インターネット上の情報提供サイトからどのような地理的課題があるのかを調べる。 ●「観光の活性化・国際化」をテーマにした場合の例 →「地域経済分析システム (RESAS) を活用して、青森市を訪れる日本人観光客に関する情報を収集する。 ●「少子化・高齢化対策」をテーマにした場合の例 →「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」を活用して、青森県内の市町村別の高齢者世帯数に関する情報を収集する。 ●「防災・減災」をテーマにした場合の例 →「地理院地図」を活用して、学校の周辺の現在の地図と昔の航空写真との比較を通して、土地利用の変遷などに関する情報を収集する。 3. 収集した情報をもとに、予想した生活圏が抱える地理的課題をJamboardに入力していく。 4. 自分が調査する課題を設定し、今後の調査方法などについてワークシート (Google ドキュメント) にまとめる。	★各自、必要とする情報を様々な情報提供サイトを組み合わせることで収集することができる。 ★収集したデータは、ダウンロードして自由に加工することができる。  ★Google classroom を通して、各自がまとめた内容をクラス内で共有することができる。

## ★使用する教材など

・地理的課題について予想をまとめるジャムボード ・課題や調査方法などをまとめるワークシート (スプレッドシート)
---

★インターネット上の情報提供サイトの活用場面の例

① 「地域経済分析システム (RESAS) の活用



② 「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」 の活用場面

統計表示 | グラフ表示 | ダウンロード | API

調査年 2015年度 | 並べ替え なし | 降順 | 項目 A8201\_高齢夫婦世帯数(高齢夫婦のみ) [世帯]

地域	A8201_高齢夫婦世帯数(高齢夫婦のみ) [世帯]	A830101_高齢単身世帯数(65歳以上の者1人)(男) [世帯]	A830102_高齢単身世帯数(65歳以上の者1人)(女) [世帯]
02201_青森県 青森市	12,462	3,782	10,264
02202_青森県 弘前市	6,874	2,380	6,267
02203_青森県 八戸市	10,449	3,157	7,290
02204_青森県 黒石市	1,092	391	1,023
02205_青森県 五所川原市	2,500	750	2,162
02206_青森県 十和田市	2,808	804	1,972
02207_青森県 三沢市	1,494	509	1,338
02208_青森県 むつ市	3,044	895	2,319

③ 「地理院地図」 の活用場面 (左:現在の地図 右:1970年代の航空写真)

